

目的



高校時代からドローンに触れドローンを学ぶ機会を創出し、スキルを習得することにより、将来の産業界でドローンを活用する人材の育成を図る。

対象：県内高校生30名

実施内容

◆ 研修の概要

大学と連携協力し、3.5日間の講座と0.5日の成果発表会を大学で実施

活動内容

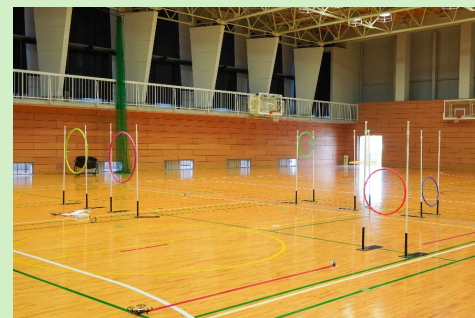
小型ドローンをPythonおよびOpenCVで制御し、課題コースを正確に速く自律飛行させる。

成果発表会

2人1組でチームとなり、障害物が設置された課題コース上で小型ドローンを飛行させ、飛行の正確さやタイムを競う。

実施による成果

環境が変化に対応させるときに論理的思考力をはたらかせ克服していく。
また、ロボットは運用して初めていろんなことに気が付き、対策を考える。
何度もトライ＆エラーを繰り返すことが、開発の現場を経験できる。



取組計画

知事のビジョン枠の一環として、ドローンをテーマとした高校生対象の入門講座を企画し、大学へ講座の実施を相談。工学部に内容と実施期間の提案を頂き、ドローンプログラミングチャレンジを実施する。

※共催先：長崎大学工学部、長崎大学教育開発推進機構アドミッションセンター